

神奈川県
保険医新聞

発行所 神奈川県保険医協会 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 (TSプラザビルディング2階)
電話045-313-2111(代表) F A X 045-313-2113 横浜中央郵便局私書箱第319号
購読料 一部300円(会員の購読料は会費に含まれています) 発行人 加茂川 学

「窓口負担“ゼロの会”」へのご賛同を

神奈川県保険医協会会員数(10月1日現在)
5,946名 医科:3,638名 歯科:2,308名
※協会未入会の方をご紹介ください。ご連絡は、協会組織部まで。

いい医療.com~神奈川県保険医協会ホームページ~
<http://iiiry.com/>

今号のピックアップ

- 2面 ① 医業税制の存続を 9月県議会へ陳情提出
- ② 寄稿:協会活動を利用しよう 月1,000件超えの問合せ
- 3面 神奈川臨調 補助金削減の検討中止を求め要請書提出
- 4面 解説: 歯科保健 法令整備にみる光と影
- 5面 ① ばるばちおん 会員の横顔 “釣りバカのスメ”
- ② わたしの一押し 「トロール人形」

今号は全県宣伝号です

今号の神奈川県保険医新聞は、保険医協会未入会の先生方にもお届けしております。当会は、神奈川県下の5,900名の医師・歯科医師が加入する任意団体です。付録のカラー紙面では、日常診療やスタッフのスキルアップなど、好評だった協会行事を紹介しております。是非ご一読いただき、この機会に入会をご検討いただければ幸いです。



現在、世界から一番評価の高い医療を提供している日本の医療制度が危うくなりかけています。そのような中

ご入会のお誘い

神奈川県保険医協会
理事長 池川 明

で希望に満ちた地域の医療を守る担い手として開業する先生方のお手伝いができることは、神奈川県保険医協会の喜びでもあります。日本の公的保険での医療は厳しい局面に立たされており、指導・監査の強化、レセプト

審査のIT化などにより、萎縮診療や有無を言わせない査定を迫られる場面も出てきました。先生方が安心して診療ができるように、保険医協会は全力で先生方の支援をさせていただきます。また、今後の医療のあり方も検討する場を提供し、会員皆様のご意見を反映しながら保険医療の拡充に努めてまいります。ぜひご入会をお待ちしております。

個別指導や労務の相談の他、
共済制度、文化行事も充実



釣り大会



点数等のお問合せ
お気軽にお問合せを
☎045-313-2111

医療再生へ懸賞論文を公募

逸材、発想の転換に期待



県庁で記者会見

協会は9月28日、県政記者クラブで日本医療再生への懸賞論文公募(下枠)に関し、記者会見を行った。本論文公募の意義、経緯等について池川理事長が説明。来年度の協会創立50周年を記念する企画であるとともに、税と社会保障の一体改革の下で岐路にたつ医療の明日を拓くため、全国の英知の結集、発掘を図りたいと強調した。

池川理事長は、「医療崩壊からの脱却となっていない中、『一体改革』では医療の未来は拓けない。しかし、現状打開のブレークスルーがない」と指摘。そこで広く提言を求め、在野の意見の逸材を吸い上げ、活動の一助としたいと、懸賞論文の公募の動機を説明。政府の財政状況からみて社会保障のシステムが岐路にあることは確かであり、将来の医療の在り方や内容も含めた発想の転換や斬新な提言を歓迎したいとした。

また、協会として医療改善のため、この間、①医療問題クイズハガキで日本の医療費が先進国で低水準にあることの常識化と医療費総額拡大の政党公約化に成功したこと、②談話発表や政策提言の作成で一定の影響を与えたこと、③医療費の窓口負担「ゼロの

なお、懸賞論文のテーマは「日本医療再生の具体的提言」(各自副題必須)、賞金は入選100万、佳作20万円各1論文、エントリ1締切が今年12月末、論文提出締切は来年6月末(当日消印有効)、字数は2万から2万5千字(図表・統計含めず)となっている。詳細はホームページを参照いただきたい。

会」を立ち上げ「いつでもどこでも、だれでも」受診の復権に賛同の輪が広がっていること一を紹介。

論文公募の広報に関して「全国保険医新聞」(発行11万部)10月5日号や、「日本医事新報」(同4万4千部)10月20日号への記事、広告掲載、医師会・歯科医師会など医療団体、学会、大学医学部・社会科学系学部への案内を予定しているとした。

記者からは論文の活用に関して問われ、池川理事長は協会内で提言内容の実現に向けた諸活動への反映、与野党の国会議員への政策化に向けた働きかけなどを予定しているとした。

神奈川県保険医協会創立50周年記念

「日本医療再生の懸賞論文」募集

救急現場での勤務医の疲弊、小児科・産婦人科の不足の一方で過重な窓口負担による患者さんの受診手控えや治療中断など「医療崩壊」は深刻です。政府の税・社会保障一体改革では未来は明るくありません。

当会は、「日本医療再生の具体的提言」の論文を公募し、将来の医療の展望を拓く一助にしたいと考えております。どなたでも結構です。奮ってご応募ください。

- 論文のテーマ 「日本医療再生の具体的提言」 (*特徴を表す副題を各自付けてください)
- 応募資格 個人、研究室、グループ等 (共同執筆は一点扱い)
- 応募要領 ▼日本語で作成された、未発表のものに限ります。▼ワープロによる作成 (A4版)のもの (*1枚につき1,000字~1,500字程度。基本的に「横書き」)で、字数は20,000字~25,000字 (*図表、統計類などの添付資料は字数に含まない)とします。▼応募(エントリ)の受付後に論文を提出してください。▼詳細は協会ホームページ <http://www.hoken-i.co.jp/> もしくは、下記「お問合せ」まで。
- 応募期限 ○応募(エントリ)期間 2012年10月1日~12月31日、○論文提出の締切 2013年6月30日 (消印有効)
- 賞金 ①入選(1論文) 100万円、②佳作(1論文) 20万円
- 授賞対象 国民と医療現場へ資する実行性、有効性、現実性をもつ論文に授与する
- 審査委員 高瀬 高明氏(共同通信論説委員)、田辺 功氏(医療ジャーナリスト・元朝日新聞編集委員)、池川 明氏(神奈川県保険医協会理事長)
- 発表及び表彰 2013年9月の発表ならびに同年10月の表彰を予定しています
- 提出先 住所: 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 TSプラザビル2F 宛先: 神奈川県保険医協会「創立50周年記念」公募論文事務局

**「医療崩壊」からの脱却へ
医療の未来を拓く
英知の結集を!**

お問合せ
協会事務局☎045-313-2111

杏林往来

9月16日の総務省発表によると、今年、65歳以上の人口が総人口に占める割合は24.1%、3千74万人となり、はじめて3千万人を超えた。団塊の世代と言われる人たちが、いよいよこの年齢に達したわけだ。不況が続く中で、「シニア消費は100兆円市場」と言われ、景気の下支えとして、各業界から注目されている。しかし、この層のニーズを読み取るのはそれほど容易ではないだろう。これからのシニア世代は、自分のこだわりを強く持ち、興味関心が多岐にわたっている。シニアのネット通販の利用率や、電子機器の保有率などの調査があったが、このような調査からヒット商品が生まれるとは考えにくい。▼そんな中「モノ消費よりコト消費」に向かうのではないかと、という見方は興味深い。時間が限られているシニアだからこそ、時間の有効活用に興味関心を持っているから。しかし、ここでも同様の問題がある。どんな「コト」ならシニア層に受けるのか。▼あるテレビ番組で、世界のシニア事情として、離婚率の高いスペインで、シニアの出会いの場が作られた例などが紹介されていた。「シニアにはシニア向け商品は売れない」とよくいわれるが、シニアという枠を取り払い、多様な個の興味に向き合うことが、シニアの心をつかむことになりそう。